

「平成27年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言」への対応状況(平成29年度事業計画及び当初予算(案)の内容)

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	提言への対応状況の説明 (施策は、考え方や事業計画・特筆すべき事項について記載。事務事業は、取組と予算内容について記載)	事務事業対応		予算対応				一般会計 予算書	
						事業方向性	事務事業名	予算科目 (中事業名)	H28 当初予算 (単位:千円)	H29 当初予算 (単位:千円)	予算方向性	予算科目 -項-目- 大事業-中 事業	掲載 頁
【施策2-5】 共に歩む社会 づくりの推進	総務		男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> 【目標達成度】成果を上げている部分もあるが、課題も多い。 【課題認識・評価】心の問題であり評価し難い施策であるが、評価のやり方について検討が必要。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。 <ul style="list-style-type: none"> 外国人に対する対応、男女共同参画、学校教育等について、さらに意識改革を図ることが必要。 現在の成果指標で評価することは難しいため、具体的な行動の有無等で判断できるアンケートの設問を考慮願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生社会推進計画や男女共同参画計画など分野別計画の取組において、市民の意識改革に効果的な取組を検討します。 いいだ未来デザイン2028(飯田市総合計画)の進捗管理にあたり、市民の人権尊重意識を調査する設問を、わかりやすいものへ改善します。 	-	-	-	-	-	-	-	-
【施策4-1】 災害対策の推進	総務		危機管理室	<ul style="list-style-type: none"> 【目標達成度】取組は進んでいるが、成果はあまり上がっていない。 【課題認識・評価】一義的には、災害に備えている市民の割合を上げることが必要。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。 <ul style="list-style-type: none"> 具体的な対策が市民に分かりやすくなるよう事務事業の整理が必要と考える。 災害予防と被災後の対策を分けて考えることが必要。 関係団体の役割分担を明確にする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の防災意識向上に向けて、引き続き、自主防災組織と連携し、研修会や講演会、防災訓練を通じ啓発活動を行っていくことで効果が現れるものと期待しています。 「命を守るための事前防災」の重要性について、研修会や講演会などにおいて啓発活動を強化しています。 災害時における行政の役割として「情報伝達」及び「外部からの早期支援の導入」を行うための対策についても力点をおいて取組を行っています。 	-	-	-	-	-	-	-	-
災害対策事業	総務	拡大	危機管理室	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の住民支援システム構築を進められたい。 防災行政無線のデジタル化の準備を進められたい。 上位成果指標は、「緊急情報が市民に素早く正確に伝わる割合」を検討願いたい(事務事業No.44-04を含む)。 事務事業名は、事業内容が分かるものを検討願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 被災者支援システムの導入に関しては、財源等を考慮しながら最適なものの導入を検討します。 防災行政無線デジタル化更新については、平成29年度において整備方針決定に向けた調査および検討を行った後、実施設計を行う予定です。 成果指標及び事務事業名については、いいだ未来デザイン2028戦略計画の中で検討します。 	拡大	防災対策推進事業【事業No.261】	災害対策一般経費	0	25,000	拡大	9-1-5-10-1	302
住宅倒壊防止対策事業	総務	やり方改善	危機管理室	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修工事の実施件数が少ない。高齢化や経済的な要因なども考えられるが、原因を分析して対策を講ずると共に、さらなる啓発にも努められたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震化を図ることの重要性は、社会的に理解されていると認識しています。29年度は耐震性のない住宅への戸別訪問の実施を行うなど啓発を図るとともに、補助金の拡充を行います。 	拡大	防災対策推進事業【事業No.261】	住宅倒壊防止対策事業費	15,752	24,252	拡大	9-1-5-10-13	304

「平成27年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言」への対応状況(平成29年度事業計画及び当初予算(案)の内容)

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	提言への対応状況の説明		事務事業対応		予算対応				一般会計 予算書	
					(施策は、考え方や事業計画・特筆すべき事項について記載。事務事業は、取組と予算内容について記載)	事業方向性	事務事業名	予算科目 (中事業名)	H28 当初予算 (単位:千円)	H29 当初予算 (単位:千円)	予算方向性	予算科目-項-目-大 事業-中 事業	掲載頁	
【施策4-2】 交通安全の推進	総務		危機管理室	<p>【目標達成度】一定の成果を上げている。 【課題認識・評価】事故件数低減のため、どのような方策を実施したかを明確にすべき。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・高齢者が関係する事故が多いことから、福祉部門を含めた対策が必要ではないか。 ・自転車に対する交通安全対策を進められたい。</p>	<p>・高齢者、子供等の交通事故を防止を図るため、ゾーン30を設置します。また各地区の保健師と連携して高齢者への出前型安全教室、交通少年団による高齢者宅家庭訪問、保育園・幼稚園児によるチャイルドボリス高齢者施設訪問を実施し、啓発を行います。 ・自転車の交通安全指導は、小・中学校の安全教室で自転車の指導を実施しました。また、道路交通法の一部改正による自転車通行区分の改正について、安全教室等において周知を図っています。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【施策4-3】 地域安全の推進	総務		危機管理室	<p>【目標達成度】一定の成果を上げている。【課題認識・評価】概ね正しい。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・反社会的組織対策、特殊詐欺、不審者・不審火対策をまちづくり組織とも連携して進められたい。 ・社会不安が増大する中、市民への情報提供を行うと共に、迅速な対応を図られたい。</p>	<p>・地域安全担当会議等を通じて、反社会的勢力への対策や特殊詐欺撲滅などについて情報を共有するとともに、緊密な連携の下、対策を進めていきます。また、暴力追放県民大会、市安全大会において、まちづくり委員会担当者とともにも暴力団関係の情報を確認し、地域住民への啓発につなげています。 ・不審火対策については、広域消防、消防団、警察署、まちづくり委員会等と連携し年間を通し週末の放火警戒を実施しているほか、迅速な情報提供を心がけています。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【施策5-3】 環境汚染の防止	総務		環境課	<p>【目標達成度】一定の成果を上げている。【課題認識・評価】概ね正しい。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・リニア関連工事に伴う環境保全や、湯水減水への万全の対策をとられたい。 ・中小河川等の環境対策について、環境マネジメントに取組む企業やまちづくり団体とも連携して取組まれたい。</p>	<p>・リニア中央新幹線の関連工事に伴う環境保全については、工事に伴い環境への影響が懸念される地区において、地下水位の観測と水質検査を行います。また、大気環境については、大気環境測定車(長野県所有)を用いて、工事着工前後の大気環境を比較するために、現在は着工前の大気環境を測定しています。 ・中小河川等の環境対策については、水質検査にて水質状況を把握すると共に、松川水環境保全推進協議会をはじめ、企業やまちづくり委員会と連携して全市一斉の河川美化活動や水生生物観察会等を通じて河川環境保全の取組を図ります。また、騒音、悪臭等についても環境への影響が懸念される箇所について、定期的な測定を行うことで状況を把握して、適切な指導を行い環境保全に取り組めます。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「平成27年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言」への対応状況(平成29年度事業計画及び当初予算(案)の内容)

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	提言への対応状況の説明		事務事業対応		予算対応			一般会計 予算書	
					(施策は、考え方や事業計画・特筆すべき事項について記載。事務事業は、取組と予算内容について記載)	事業方向性	事務事業名	予算科目 (中事業名)	H28 当初予算 (単位:千円)	H29 当初予算 (単位:千円)	予算方向性	予算科目-項-目-大 事業-中 事業	掲載頁
【施策5-4】 自然とのふれあいと環境学習の推進	総務		環境課	<p>【目標達成度】一定の成果を上げている。【課題認識・評価】概ね正しい。</p> <p>【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。</p> <p>【上位政策貢献度】何をもって「自然とのふれあい」とするかが、やや不明確。</p> <p>・「自然とのふれあい」をイベント等に求めて良いのか不明確で、意識向上が図られたのか判断が難しい。</p> <p>・自然とのふれあいには、「感動」が大切と考える。子どもと共に広い世代に向けた取組が求められる。</p>	<p>・自然とのふれあいと環境学習の推進については、環境意識の向上が成果として直ぐに表れているか判断するのは困難です。しかし、多くの市民が豊かな自然を地域の誇りと感じていることから、身近な自然の観察会や自然環境の講演会等の自然とのふれあいの機会を創出する中で、一人でも多くの参加者が豊かな自然環境とは何かを再発見し、再認識する機会を提供することが第一歩であると考えます。また、イベントは子どもから大人まで多くの市民が参加いただける一つ的手段として有効と考えています。</p> <p>・自然とのふれあいの機会を創出し、豊かな自然環境を再発見、再認識する中で感動も生まれると感じていますが、感動した要素を把握、考察して明確化することで、今後の環境学習の推進につなげます。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-
【施策5-5】 日常的な環境負荷低減活動の展開	総務		環境モデル都市推進課	<p>【目標達成度】成果を上げている。【課題認識・評価】正しい。</p> <p>【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。</p> <p>【上位政策貢献度】貢献している。</p> <p>・子供の環境学習、農業分野における環境配慮に対する取組を進められたい。</p> <p>・旧飯田測候所の活用等、環境情報の発信を進められたい。</p>	<p>・子供の環境学習については、いいだ未来デザイン2028戦略計画の取組に掲げており、特に園児(幼児)への環境教育を推進します。</p> <p>・旧飯田測候所については、指定管理者のおひさま進歩エネルギー株式会社と飯田市が協働し視察対応や環境情報の発信に活用しているほか、地域との協働イベントにも活用しています。また、今年度から同施設を拠点に「飯田自然エネルギー大学」を開講し、環境人材の育成に着手しました。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-
【施策5-6】 廃棄物の減量と適正処理	総務		環境課	<p>【目標達成度】一定の成果を上げているが、目標に対しては更に努力が必用。</p> <p>【課題認識・評価】概ね正しい。【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。</p> <p>【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・新しいクリーンセンターの稼働に向けて、分別等の意識レベルの低下をきたさぬよう周知されたい。</p> <p>・廃棄物減量化に向け、再資源化(リユース、リデュース、リサイクルの推進)を含めた具体的な対策を検討願いたい。</p> <p>・適正処理については、色付き瓶等引き取り手のない廃棄物に重点を置いて対応願いたい。</p> <p>・ごみ出し困難者への対策を検討願いたい。</p>	<p>・分別等の意識レベルについては、広報いいだ、各地区説明会、3月と8月に配布するごみ・リサイクルカレンダーにより十分な周知を図っていきます。</p> <p>・再資源化(リユース、リデュース、リサイクルの推進)については、まずは3Rについて周知を図り、意義や手段を知っていただきながら実践していただくように働きかけていきます。</p> <p>・家庭から排出された飲み物のガラスびん(色付き瓶等)については、リサイクルステーションにおいて分別収集を行っているほか、家庭から排出された飲み物以外(薬品や劇物が入っていたものを除く)のガラスびん(色付き瓶等)については、埋立ごみとして収集を行うなど、今後も適正処理に努めていきます。</p> <p>・ごみ出し困難者の対応については、住民支え合いマップを活用した日常生活における支援の取組が有効なものとなるように、マップの作成に留まらず、見守りも含めたごみ出し支援等の実践活動につなげていきます。また、多様な主体によるごみ出し困難世帯に対する支援の拡充を行います。さらに、ごみ集積所が遠いなどの理由でごみ出しに苦慮している高齢者への対応として、ごみ集積所の再配置や増設等の対策を検討します。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-

「平成27年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言」への対応状況(平成29年度事業計画及び当初予算(案)の内容)

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	提言への対応状況の説明		事務事業対応		予算対応			一般会計 予算書	
					(施策は、考え方や事業計画・特筆すべき事項について記載。事務事業は、取組と予算内容について記載)	事業方向性	事務事業名	予算科目 (中事業名)	H28 当初予算 (単位:千円)	H29 当初予算 (単位:千円)	予算 方向性	予算科目-項-目- 大-中-小-事業	掲載 頁
不法投棄対策事業	総務	やり方改善	環境課	<ul style="list-style-type: none"> 「ポイ捨て禁止条例」の周知を進められたい。 改革提案に「新たな取組を行い」とあるが、これを具体的に明確化して取り組まれたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ポイ捨て禁止条例」の周知については、ごみ・リサイクルカレンダーにポイ捨て等防止市民条例の説明を掲載したほか、チラシを作成して、飯田市内の全家庭に配布してきましたが、今後は、ごみ・リサイクルカレンダーへの掲載内容の充実を図り、周知を図っていきます。 新たな取組については、不法投棄をさげに環境づくりのための取組を継続する中で、特に不法投棄が多発する場所に監視カメラを設置して、その抑制に取り組んでいきます。 	見直し・改善	地域環境美化推進事業【事業No.159】	環境美化推進費(補助金)	4,000	4,000	現状維持	4-2-1-11-1	212
【施策5-7】 社会の低炭素化の推進	総務		環境モデル都市推進課	<ul style="list-style-type: none"> 【目標達成度】一定の成果を上げているが、直近の指標データが未確定であり評価し難い。 【課題認識・評価】概ね正しい。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。 小沢川の小水力発電事業は、重点事業として取り組まれたい。 地域環境権条例の実効性を上げられるよう取り組まれたい。 太陽光発電システムについて、蓄電設備に関する調査研究に取り組まれたい。 木質バイオマスについては難しい課題もあるが、更なる取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年9月に地元まちづくり委員会が出資し「かみむら小水力株式会社」が設立されました。市は事業化支援として、発電設備建設に必要な許認可取得のための流量実測、河川環境調査、取水計画地点の治山堰堤の構造調査を実施するとともに、同社の事業計画作成にも関わっています。 地域環境権条例では、新たに山本小学校での太陽光発電事業を認定し、これまでの累計で9件となっています。今後も積極的な普及に努めます。 太陽光発電設備の新規設置が減少傾向にある情勢を鑑み、平成28年度に太陽光発電設備設置補助金の制度を見直し、蓄電池についても太陽光発電設備と複合的に支援するため補助を開始しました。今後も社会情勢を捉え、制度を研究していきます。 木質バイオマスの地域内循環利用に向けた課題を抽出するため、林業関係者からのヒアリングに着手しました。 	-	-	-	-	-	-	-	
【施策7-1】 地域情報・課題の相互理解の推進	総務		ムトスまちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> 【目標達成度】指標から見ると成果が上がっているとは言えない。 【課題認識・評価】地域の情報共有は一定程度進んだ。 【事務事業の組み立ての方向性】有効な事業の方向性が明確となっていない。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。 従来から努力をしてきたが、今までのやり方では成果を上げることは難しい。必要性を検証しながら自治基本条例に基づいた対策を検討されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 組合加入促進について、異動の多い3月中旬から4月上旬に市民課へ窓口案内コーナーを設置するとともに、地区が行うコーディネーター活動を積極的に支援します。 未加入者へのアンケート調査と組合脱退状況を調査し、有効な方策を検討します。 他市の取組事例を収集し、自治基本条例に基づいた対策を検討します。 	-	-	-	-	-	-	-	

「平成27年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言」への対応状況(平成29年度事業計画及び当初予算(案)の内容)

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	提言への対応状況の説明		事務事業対応		予算対応				一般会計予算書		
					(施策は、考え方や事業計画・特筆すべき事項について記載。事務事業は、取組と予算内容について記載)	事業方向性	事務事業名	予算科目(中事業名)	H28当初予算(単位:千円)	H29当初予算(単位:千円)	予算方向性	予算科目-項-目-大-中-事業	掲載頁		
【施策7-2】自立に向けた住民組織力の向上	総務		ムトスマちづくり推進課	<p>【目標達成度】努力はしているが、全体からすると成果を上げているとは言えない。</p> <p>【課題認識・評価】まちづくり活動への参加者増に関しては、一定の評価ができるが、その実態を精査する必要がある。</p> <p>【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。</p> <p>【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・自らの地域のために自ら活動することが自治活動の原点であり、ここに立ち戻って考えないと自律した住民活動にならない。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地域自治組織運営事業	総務	やり方改善	ムトスマちづくり推進課	<p>・自治基本条例に立ち戻って、自治組織のあり方を検証しながら今一度自分たちのまちづくりを見直すことが必要と考える。</p>	見直し・改善	地域自治組織運営事業【事業No.11】	自治振興一般経費	848	845	現状維持	2-1-5-10-1	98			
【施策8-1】交流による高付加価値化・国際化の推進	総務		企画課	<p>【目標達成度】目的がはっきりしない部分があるが、指標に対してはある程度成果を上げている。</p> <p>【課題認識・評価】概ね正しい。</p> <p>【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しいと考えられるが、高付加価値化の効果を市民に分かりやすく説明する必要がある。</p> <p>【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・AVIAMA総会の開催を契機とした国際化の取組を進められたい。</p> <p>・学輪IIDAの参加大学に飯田ブランドを高める研究を依頼する取組を進められたい。</p> <p>・ブランディングでは、テーマを絞って進める必要がある。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

「平成27年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言」への対応状況(平成29年度事業計画及び当初予算(案)の内容)

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	提言への対応状況の説明		事務事業対応		予算対応				一般会計 予算書	
					(施策は、考え方や事業計画・特筆すべき事項について記載。事務事業は、取組と予算内容について記載)	事業方向性	事務事業名	予算科目 (中事業名)	H28 当初予算 (単位:千円)	H29 当初予算 (単位:千円)	予算方向性	予算科目-項-目-大 事業-中 事業	掲載頁	
【施策8-2】 三遠南信・中京圏の連携推進	総務		企画課	<p>【目標達成度】成果を上げているとは言えない。 【課題認識・評価】行政間の交流はあるが、市民の交流は進んでいない。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・交流人口の増加に向けた取組が必要。 ・中学生の交流等では成果があるが、将来に向け若年層の交流を進められたい。 ・成果指標では、交流が必要と思う市民の割合(71.4%)に対して、交流に参加している市民(10.5%)のギャップが大きいため、具体的な事業の実施により解消に努められたい。</p>	<p>・三遠南信地域における交流人口の増加に向けて、三遠南信住民ネットワーク協議会との連携や、南信州交流の輪の活動支援などを通じて、住民同士が交流する機会の創出を推進します。 ・また来年度から取り組む「三遠南信地域連携ビジョン」の改定の中で、より効果的な取組について研究し、実践できるよう取り組みます。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【施策8-5】 中山間地域振興の推進	総務		ムトスまちづくり推進課	<p>【目標達成度】一定の成果を上げているが、人口減少に歯止めがかかっていない。 【課題認識・評価】事務事業は実施されたが、総合的にはあまり進んでいない。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・中山間地域振興計画の進捗状況の検証と見直しが必要と考える。 ・地域おこし協力隊等さらなる地域活性化の支援に取り組まれたい。 ・交流人口の増加に向けた体験交流のため、施設整備や魅力強化に取り組まれたい。 ・地域振興住宅の用地確保のため、迅速な事務処理に配慮願いたい。</p>	<p>・現行の中山間地域振興計画は、平成30年度までを計画期間としています。今後、いいだ未来デザイン2028(飯田市総合計画)の策定を踏まえて現行計画の検証と見直しに向けた協議を進めていきます。 ・地域おこし協力隊は、1月現在2名が活動を行っており、今後も受入体制が整った地域へ活性化のための人的支援として導入を進めます。 ・いいだ未来デザイン2028における中山間地域が連携した1年1点型の取組の中で、交流人口の増加に向けた取組を進めていきます。 ・地域振興住宅用地は、地区まちづくり委員会とも協議を行いながら設置に向けた取組を進めたいと考えています。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	
【施策9-1】 市民参画による協働の推進	総務		ムトスまちづくり推進課	<p>【目標達成度】成果を上げているとは言えない。 【課題認識・評価】目標に対して指標の数値が低く、対策が難しい。 【事務事業の組み立ての方向性】具体的な対策が不十分 【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・機会の設定はある程度行われているが、参加者の固定化が懸念される。広い範囲の市民が自主的に参加できるような取組が必要。</p>	<p>・市政懇談会について、幅広く市民が参加してもらえるよう各地区まちづくり委員会と協力して呼びかけます。 ・市民の意識を高め、自発的な市民活動が増えるよう、ムトス飯田推進委員会と連携して必要な対策や体制の研究を始めます。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	

「平成27年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言」への対応状況(平成29年度事業計画及び当初予算(案)の内容)

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	提言への対応状況の説明 (施策は、考え方や事業計画・特筆すべき事項について記載。事務事業は、取組と予算内容について記載)	事務事業対応		予算対応				一般会計 予算書	
						事業方向性	事務事業名	予算科目 (中事業名)	H28 当初予算 (単位:千円)	H29 当初予算 (単位:千円)	予算 方向性	予算科目- 項-目- 大-中- 事業	掲載 頁
総合的な空き家対策事業	総務	やり方改善	ムトスまちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> 現状把握を進められたい。 職員体制の強化を検討願いたい。 空き屋の解消に向けた制度について、さらに検討願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年6月に各地区まちづくり委員会から報告いただいた空き家調査により空き家のデータベースの構築ができました。データベースを元に公図地番と突合を行い、所有者調査、廃屋状況調査を進め現状把握を進めます。 平成29年度から臨時職員を採用し体制を強化します。 空家検討会議、空家審議会等で空き家解消に向けた研究を進めます。 	見直し・改善	総合的な空き家対策事業【事業No.14】	空き家対策事業費	7,749	10,912	拡大	2-1-5-10-9	98
【施策9-2】 情報共有の推進	総務		広報情報課	<p>【目標達成度】一定の成果を上げているが、リニア計画については、不十分と感じる市民が多い。</p> <p>【課題認識・評価】概ね正しい。【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。</p> <p>【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信と情報公開に更に取り組まされたい。 ICTの活用により若年層を対象とした情報共有に努められたい。 リニア計画に関する市からの情報が不足していると感じている市民が多いため、情報の提供に努められたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信と情報公開については、「広報いいだ」やホームページ、市提供番組(飯田ケーブルテレビ、いいだFM)、定例記者会見等を通して実施していますが、更に「伝わること」を意識した情報発信の強化に努めます。 若年層を対象とした情報共有については、フェイスブック等のSNSを活用し、情報発信を行っており、20代から40代までの世代への情報共有に成果が出ています。新年度にはデータ放送更新に伴うスマホアプリの導入も予定しており、引き続き、ICTの活用を推進します。 リニア計画の情報提供については、地区の説明会や市のホームページを中心に随時提供してきました。また平成28年12月1日号の「広報いいだ」から新たにリニア関連コラムの連載を開始し、今後は毎月1日号で情報提供していきます。 	-	-	-	-	-	-	-	-
広報広聴事業(旧広報発行事業)	総務	拡大	広報情報課	<ul style="list-style-type: none"> リニア時代に向け、シティプロモーション事業は極めて重要な事業と考える。実施体制や事務事業の組み立て方を含めて検討し、重点を置いて取り組まされたい。 広聴事業については、市民に身近な対応となるよう努められたい。 	<ul style="list-style-type: none"> いいだ未来デザイン2028戦略計画に「地域ブランドの構築と地域の魅力のプロモーション」を掲げ、地域ブランドとシティプロモーションに一元的に取り組む体制で、総力を挙げて取り組みます。 やままいか提言を中心に今後も迅速な対応を行います。また市民意識調査については、新しい総合計画を踏まえつつ、質問項目等を見直します。 	拡大	シティプロモーション推進事業【事業No.8】 広報広聴事業【事業No.7】	シティプロモーション推進事業費 広報広聴費 市民意識調査事業費	2,650 19,359 589	7,838 20,530 589	拡大	2-1-2-10-4 2-1-2-10-1 2-1-2-10-3	94

「平成27年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言」への対応状況(平成29年度事業計画及び当初予算(案)の内容)

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	提言への対応状況の説明		事務事業対応		予算対応				一般会計 予算書	
					(施策は、考え方や事業計画・特筆すべき事項について記載。事務事業は、取組と予算内容について記載)	事業方向性	事務事業名	予算科目 (中事業名)	H28 当初予算 (単位:千円)	H29 当初予算 (単位:千円)	予算方向性	予算科目-目-大 事業-中 事業	掲載頁	
【施策9-3】 良質な行政サービスの提供	総務		人事課	<p>【目標達成度】成果を上げているとは言えない。【課題認識・評価】あまり進まなかった。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・行政サービスに関して市民から厳しい意見もあるため、「全職員コンシェルジュ宣言」の取組をさらに進められたい。 ・職員意識の改革や人間形成、業務能力の向上のため、目的を明確にした職員研修を充実されたい。 ・来庁市民へのアンケート調査を実施して業務改善の参考にすることを検討されたい。</p>	<p>・今後も「全職員コンシェルジュ宣言」の取組を推進し、市民の皆様に信頼される市役所づくりに努めます。 ・いいだ未来デザイン2028(飯田市総合計画)や新たな行財政改革大綱の策定を踏まえ、人材育成基本方針の見直しを行うとともに、方針に基づいた人材育成の取組を進めていきます。 ・これまでも市民の皆様のご意見を市政運営に反映する仕組みを取り入れています。今後も市民の皆様のご意見の把握に努めます。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【施策9-4】 効率的、効果的な行政運営	総務		財政課	<p>【目標達成度】一定の成果を上げている。【課題認識・評価】概ね正しい。 【事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。 【上位政策貢献度】概ね貢献している。</p> <p>・公共施設マネージメントの実施計画については、丁寧に説明を行い、市民の意見を聞きながら進められたい。 ・行政評価は、適正な評価を行うための指標設定と状況把握に努め、PDCAサイクルが機能するよう配慮されたい。 ・監査については、実施件数ではなく指摘件数や効果を評価し、適正な市政運営に努められたい。 ・職員配置については、単なる数の議論に終わることなく適正配置に努め、市民に信頼される行政運営を行われたい。</p>	<p>・公共施設マネージメントの取組は、優先検討施設について施設の状況に応じて、利用者・関係団体・地域住民の皆さんなどによる検討会議を開催し、具体的な方向性の協議を進めていきます。 ・新たな行政評価は、戦略的かつ重点的に取り組む「戦略計画」を基軸とし、進捗状況確認指標の変化を捉えるとともに、実践や経験の中で工夫を続ける「成長重視」のサイクルで評価します。また、「事務事業」は、予算・決算の審査の中で、PDCAサイクルが機能するよう評価します。 ・監査については、プロセスも含めた事業効果の評価を行うとともに、引き続き行政運営の指導に重点を置いた監査を基本として、事務事業の改善につながる監査を行います。 ・職員配置については、行財政改革大綱(平成29年度～平成32年度)の基本方針に基づき、現在の定員を基本としつつ業務量の増減に応じた適正な職員配置を実施していきます。</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	